

機械器具 50 開創又は開孔用器具
一般医療機器 歯科用開口器 (70949000)

ドライフィールドシステム

【禁忌・禁止】

- ・ 歯科用
- ・ 使用目的以外には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】**

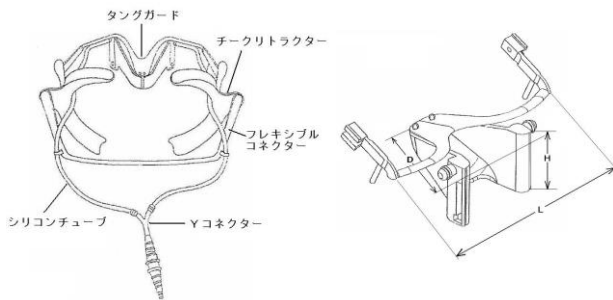
1. 概要

本品は、歯科治療で患者の開口状態を保持する器具である。大小2種類のサイズがあり、唾液を排出できる構造をもつ。

2. 形状、構造

図面は以下のとおり。

2-1. 全体図



2-2. 部品「タングガード」

4. 取り外し方法

- 1) 左右のBを近づけるようにして、Aをたわめ、分解しないでそのまま口腔内から取り出す。
- 2) 取り出した後は、速やかにBからタングガードをスライドさせて外す。

図1



図2

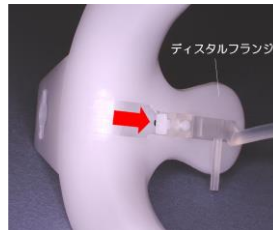


図3



タングガードのサイズ別の色及び寸法は下表のとおり。

寸法単位: mm

サイズ記号	色	D	H	L
S	赤	25.5	21.3	60
L	白	33.6	23.7	70

3. 原材料

ポリプロピレン、ガラス繊維入りアセタール共重合体、ナイロン12、シリコーン樹脂、赤色素

【使用目的又は効果】

歯科治療で患者の開口状態を保持する。

【使用方法等】

1. チークリトラクターアセンブリの組立 (図1)
フレキシブルコネクター(A)とチークリトラクター(B)を組み合わせる。
2. タングガードアセンブリの組立
タングガードの両サイドに出ているパイプにシリコンチューブを差し込む。
3. 口腔内への装着
 - 1) Aをたわめるようにして、Bを患者の口腔内に入れる。この時Bのディスタルフランジ(図2)が口腔の奥を向くようにする。口唇に無理なくBがかかっているかを確認する。
 - 2) 次にタングガードを患者の舌に被せ、タングガード両サイドのコネクティングアームをBの溝に前方からスライドさせて入れる。
 - 3) 患者に舌をリラックスするよう指示する。これによりタングガードの位置が口腔内で落ち着く。
 - 4) タングガードから出ているチューブが最後臼歯後方に来るまでタングガードの位置をスライドさせる。
 - 5) リテイニングポストの後ろを緩やかにチューブが通るようにする。
 - 6) 図3のように、チューブをCホルダーに掛ける。
 - 7) 最後にYコネクターにチューブを繋ぎ、デンタルチェアのバキュームに接続する。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- ・ 本品は歯科医療有資格者以外使用しないこと。
- ・ 本品は使用目的等欄以外の用途には使用しないこと。
- ・ 使用前に必ず洗浄・滅菌すること。
- ・ 製品に変形等の異常がある場合には、使用しないこと。
- ・ 本品の滅菌はオートクレーブを使用すること。
- ・ オートクレーブ滅菌の際、本品の各部品は分解すること。設定温度は121℃を推奨いたします。
- ・ 変形の恐れがあるため、作業温度が135℃を超える工程(乾燥)は行わないこと。

【保管方法及び有効期間等】

- ・ 埃等が付かない乾燥した場所で衛生的に保管すること。
- ・ 直射日光又は紫外線のあたる場所に保管しないこと。

【製造販売業者又は製造業者の氏名又は名称等】*

製造販売業者: 株式会社 JM Ortho
住所: 東京都千代田区神田駿河台 2-2
御茶ノ水杏雲ビル 14F
電話番号: 03-5281-4711
FAX番号: 03-5281-4716
製造業者: Great Lakes Dental Technologies, LTD.
(アメリカ合衆国)

取扱説明書を必ずご参照ください。